

会告

2006年度 根研究会総会の報告

2006年5月20日(土)に拓殖大学(八王子市)において、第24回根研究集会の冒頭に、2006年度の定例総会を下記の通り開催しました。

次 第

開 会
議長選出
会長挨拶
2005年度会務報告および決算報告・会計監査報告
報 告
協 議
2006年度事業計画および予算
計画案説明
協 議
その他
閉 会

2005年度会務報告、決算報告、会計監査報告

2005年度事務局長より下記の通り報告され、承認されました。

1. 会務報告

・会誌第14巻発行

第1号(2005年3月発行) pp1-31 (31 ページ数)
第2号(2005年6月発行) pp32-71 (40 ページ数)
第3号(2005年9月発行) pp72-145 (74 ページ数)
第4号(2005年12月発行) pp146-212 (67 ページ数)
会員名簿(2005年6月発行)

・研究集会

第22回研究集会 2005年7月2日(土)
於:北海道農業研究センター:辻実行委員長
第23回研究集会 2005年11月12日(土)
於:キャンパスプラザ京都:巽実行委員長

・2005年度根研究会賞

【学術特別賞】

・森田茂紀 氏(東京大学大学院・農学生命科学研究科)
「根に関する書籍(「根ハンドブック」、「根の研究最前線」、「根の事典」、「根のデザイン」など)の著作および編集による根系の捉え方、根の研究方法などの普及・啓発」

【学術奨励賞】

・小田 篤 氏(筑波大学大学院生命環境科学研究科)
「キュウリ根の産生する導管液レクチン(XSP30)に関する研究」
・服部太一郎 氏(鳥取大学・乾燥地研究センター)
「ケイ酸施用によるソルガムの耐乾性向上とその生理的機作に関する研究」
・島村 聡 氏(農業・生物系特定産業技術研究機構・作物研究所)
「湛水条件下で栽培したダイズにおける通気組織の形成とその機能に関する研究」

2. 決算報告

別添資料参照

3. 会計監査報告
別添資料参照

2005年度一般会計決算
(期間：1月1日-12月31日)

			円
1. 収入			
事項	予算	決算	予算との差額
前年度繰越金	510,121	510,121	0
会費未納分(2004年以前)	227,000	155,000	-72,000
2005-6年会費	1,500,000	1,326,000	-174,000
会費前納分(2007年以降)	0	9,000	+9,000
展示料	20,000	0	-20,000
バックナンバー売上げ	10,000	6,500	-3,500
雑収入(許諾料+銀行利子)	500	9,248	+8,748
合計	2,267,621	2,015,869	-251,752

			円
2. 支出			
事項	予算	決算	予算との差額
会報印刷費	1,200,000	878,955	-321,045
会誌郵送費	170,000	138,860	-31,140
謝金	450,000	337,550	-112,450
事務通信費	50,000	26,730	-23,270
事務用品費	10,000	38,565	+28,565
研究集会経費	50,000	70,000	+20,000
受賞者懇親会費	20,000	14,000	-6,000
受賞者記念品制作費	5,000	6,783	+1,783
メーリングリスト使用料	0	0	0
ホームページ使用料	30,000	26,775	-3,225
予備費	30,000	69,670	+39,670
次年度繰越金	252,621	407,981	+155,360
合計	2,267,621	2,015,869	-251,752

繰越金を除いた2005年の総収入 1,505,748 (会費分 1,490,000)

繰越金を除いた2005年の総支出 1,607,888

会計監査報告書

根研究会会則第8条により、平成17年(2005年)の会計監査を行った結果、適正に執行されていることを確認しました。

2006年4月24日

監査 氏名

飯嶋 盛雄

2006年度事業計画および予算

2006年度執行部より下記の通り提案され、承認されました。

1. 事業計画

(1) 会誌『根の研究』第15巻発行（編集委員長：犬飼義明）

第1号（2006年3月発行）pp1-41（41ページ）

第2号（2006年6月発行予定）

第3号（2006年9月発行予定）

第4号（2006年12月発行予定）

会員名簿（2006年6月発行）

表紙デザインを新しくしカラー化。

(2) 研究集会の開催

第24回研究集会 2006年5月20日（土）・21日（日）

於：拓殖大学（東京都八王子市） 仁木輝緒実行委員長（拓殖大学）

第25回研究集会 2006年10月7日（土）

於：富山大学（富山県富山市） 唐原一郎実行委員長（富山大学）

(3) 2006年度根研究会賞の公募・選考・授与

6月に会誌で告示し7月に公募。第25回根研究集会において授賞。

(4) 特別会計による研究会活動と会員の研究活動の支援（予算を参照）

*根研究会「苜住」海外渡航支援

根研究会所属の若手会員（申請時の年齢が40歳以下）の国際的な活躍を支援するため、海外の学会等に参加して根に関する研究成果を公表するための渡航経費の一部を補助。

応募〆切は、4月末日（2006年7月－2006年12月の渡航分）と10月末日（2007年1月－2007年6月の渡航分）の2回。

規定を下記の通り改定し、2007年前半の渡航分（今年10月末日応募〆切）から適用する。

・年間総額と1件当たり助成金額の上限の増額

旧 来：年間総額30万円まで、1件当たり5－10万円

改定案：年間総額50万円まで、1件当たり5－20万円

なお、これまで助成金額の決定権が明記されていなかったため、審査に当たる正副会長が決めることも明記する。

・渡航目的の拡大

成果発表以外に、調査・研究のための渡航も認める。

*会誌『根の研究』の質向上のための補助

著者に魅力ある雑誌として質の高い論文の寄稿を促すため、表紙や図表のカラー印刷、別刷り進呈などにかかる経費の一部を補助する。

*会誌『根の研究』のバックナンバーのデジタル化

創刊号から昨年度分までを、業者に委託してスキャナでデジタル画像化し、インターネットで閲覧できるようにする。

*研究会の企画による出版・グッズの作製

随時企画を募集し、提案があれば予備費で対応する。採否については執行部・評議員で検討するが、経費が大きい場合は、次年度の予算で検討する。

(5) 他の学術関連団体などとの協力

*第9回植物の嫌気応答に関する国際会議（2007年11月19日-23日；宮城県宮城郡松島町）

協賛団体として、運営・宣伝などに協力するほか、セッションを1つ企画する。

*日本学術会議

協力学術研究団体として、委員候補の推薦やアンケートなどの依頼があれば協力していく。

*国際根学会

次回シンポジウム開催などに向けて何か要請があれば、企画・宣伝などに協力する。

*その他

学術活動に関するアンケートなど、根の研究や日本の学術発展に有意義と思われる要請については、大きな負担のない範囲で協力する。

(6) その他

* 英文誌の刊行に向けて取り組む。

2. 予算

2006年一般会計予算
(期間： 1月1日-12月31日)

			円
事項	予算	前年度決算	差額
前年度繰越金	407,981	510,121	-102,140
会費未納分	200,000	155,000	+45,000
2006年会費	1,400,000	1,326,000	+74,000
会費前納分	0	9,000	-9,000
バックナンバー売上げ	0	6,500	-6,500
雑収入(許諾料+銀行利子)	0	9,248	-9,248
会誌改善費(特別会計から)	100,000	0	+100,000
合計	2,107,981	2,015,869	+92,112

			円
事項	予算	前年度決算	差額
会報印刷費	1,000,000	878,955	+121,045
会誌郵送費	150,000	138,860	+11,140
謝金	500,000	337,550	+162,450
事務通信費	30,000	26,730	+3,270
事務用品費	50,000	38,565	+11,435
研究集会経費	50,000	70,000	-20,000
研究会賞授賞経費(副賞など)	40,000	20,783	+19,217
サーバ使用料	30,000	26,775	+3,225
予備費	50,000	69,670	-19,670
次年度繰越金	207,981	407,981	-200,000
合計	2,107,981	2,015,869	+92,112

繰越金を除いた2006年の総収入1,700,000(会費分1,600,000)

繰越金を除いた2006年の総支出1,900,000

2006年特別会計予算
(期間 1月1日-12月31日)

			円
事項	予算	前年度決算	差額
前年度繰越金	4,311,230	3,721,078	+590,152
出版物販売	150,000	165,280	-15,280
グッズ販売	10,000	13,200	-3,200
雑収入(返還金#1 銀行利息等)	100,000	26	+99,974
寄付	32,400	904,921	-872,521
合計	4,603,630	4,804,505	-200,875

#1 若手海外渡航支援の渡航中止による返還金

2. 支出

円

事項	予算	前年度決算	差額
出版（印刷費）#1	0	278,775	-278,775
出版物寄贈郵送費	10,000	0	+10,000
根の研究バックナンバーデジタル化 #2	500,000	0	+500,000
学術奨励基金 #3	400,000	201,050	+198,950
送料・手数料など	20,000	13,450	+6,550
予備費 #4	100,000	0	+100,000
会誌改善費（一般会計へ）	100,000	0	+100,000
次年度繰越金 #5	3,473,630	4,311,230	-837,600
合計	4,603,630	4,804,505	-200,875

繰越金を除いた 2006 年の実収入: 292,400

繰越金を除いた 2006 年の実支出: 1,130,000（学術奨励基金とバックナンバー・デジタル化を除くと 230,000）

#1 「根研究の最前線 6」は次年度（2007 年 3 月）刊行予定。緊急の提案があれば予備費での対応を検討する。

#2 創刊号から昨年度までの全 14 巻のデジタル化経費。次年度以降、1 年分ずつをデジタル化する経費は 3 万円弱/年の見込み。

#3 若手海外渡航支援。今年後半の募集分から上限額を 1 件 20 万円までに改訂。

#4 緊急の打合せ旅費等。年度内にグッズ作製・出版の提案があった場合にも、予備費での対応を検討する。

#5 このうち、若手海外渡航支援の原資となる苧住先生からの寄付金の繰越残額は 232 万円程度。

以上、すべて総会にて承認されました。

根研究会若手会員に対する海外渡航費等支援

(日本語名称：根研究会「苺住」海外渡航支援)

(英語名称：JSRR (Karizumi) Young Researcher Travel Award)

<2006年5月20日の総会で下線部のように改訂されました>

根研究会では、若手会員の国際的な活躍を支援するため、海外で開催される学会等において研究成果を公表するため、あるいは、海外での研究・調査のための渡航経費の一部を支援いたします。本支援は、苺住会員による寄付金の一部をより有効に活用するための一環として実施するものです。奮ってご応募ください。

支援目的、支援対象者および支援額

根研究会所属の若手会員(申請時の年齢が40歳以下*)の国際的な活躍を支援するため、海外の学会等に参加して根に関する研究成果を公表するため、あるいは、海外での研究・調査のための渡航経費の一部として、毎年50万円を限度として支援します。支援する額は一人当たり5-20万円とします。

* 年齢制限は2005年7月に「35歳以下」から「40歳以下」に緩和されました。

* 改訂した限度額は2007年前半の渡航分(2006年10月末応募〆切)から適用します。

応募期間

原則として

1月-6月開催分：開催前年の10月末日締め切り(必着)

7月-12月開催分：開催当年の4月末日締め切り(必着)

申込先： 根研究会事務局

審査と決定通知

会長、副会長で協議して支援の可否と支援の額を決定し、締切月の翌月末までに申請者に通知します。なお、採用人数と支援額は、前期・後期のバランスや年間の総額などを考慮して決定します。

支援を受けた方は、帰国後速やかに研究会誌の「報告」欄に会議の概要を投稿して頂きます。また、発表課題が事前審査等により受理されなかった場合や都合により渡航できなくなった場合には、支援金全額を速やかに返済して頂きます。

申請書の記載内容(A4 1枚 程度)

(申請は、本人申請を原則とし、学生の場合は指導教官等の承認が必要)

1) 申請者の氏名、所属、生年月日

(学生の場合は指導教官等の所属・氏名・印鑑をもって指導教官等の承認とします)：

2) 会議等の名称と開催期間、開催場所：

3) 発表課題名：

4) 渡航日程：

5) 申請額と支援金の使途：

6) 現在行っている主な研究の概要(400字程度)

以上

現在、上記の規約に基づき、2007年1月-6月の渡航分について申請を受付中です。

申請先は、根研究会事務局(〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学 大学院農学生命科学研究科 栽培学研究室 阿部淳気付)ですが、電子メールにMS-WordまたはPDFのファイルを添付し neken2006@jsrr.jp にお送り頂いても結構です。